

目標達成計画

作成日: 平成 23 年 12 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	職員の能力や経験に多少の差がある。利用者の重度化を想定した場合、職員の資質向上の取り組み、またご家族や主治医との連携がさらに必要と思われる。	日頃からご家族や主治医との連携を密にし、利用者の状況が重度になった場合も、柔軟な支援体制がとれるようになる	①事業所内外の勉強の機会を作り職員の資質向上につなげる ②ご家族や主治医との日常的な話し合いを細目に行い事業所の方針や対応能力を理解して頂く	12ヶ月
2	35	運営推進会議での提案をきっかけにH23年度の災害対策計画を作りなおし実施してきたが、反省点も多かった。今後も継続して取り組んでいきたい。	火災や地震・水害等の災害時、利用者が安全に避難できる対応を全職員が身につける	①定期的な避難訓練を行い、反省点を改善につなげる（利用者個々の状況に応じた避難方法をマニュアル化し、訓練に活かす） ②全職員が安全な避難誘導ができるよう、事業所内の指導教育体制を充実させる ③地域や他事業所との協力体制を見直す	12ヶ月
3	23・25	事業所の理念を軸に一人ひとりの利用者の人権を尊重しケアを行っているが、さらに認識を深めていく必要があると思われる	利用者一人ひとりが有する能力を発揮しながら自分らしく暮らしていける	①権利擁護についての勉強会を行い職員の意識を高める ②事例検討やロールプレイを実施し職員が具体的に考え、意見を出し合う機会をつくる	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。